

赤瀬 知子教授 主要研究業績

著書

内裏名所百首注 疎竹文庫蔵(単著)

臨川書店 昭和五七年一月

内裏名所百首 曼殊院蔵(単著)

臨川書店 昭和五八年 四月

百人一首注釈書叢刊二(共編)

和泉書院 平成 七年 三月

院政期以後の歌学書と歌枕(単著)

清文堂出版株式会社 平成一八年一〇月

享受史的視点から

西尾市岩瀬文庫蔵名所和歌抄出(単著)

文栄堂 平成二八年 三月

学術論文

俊頼から顕昭・定家へ―『俊頼髓腦』をめぐる―

『國語國文』第五〇卷第七号 昭和五六年 七月

『俊頼髓腦』における享受と諸本―諸本論のための試論―

『國語國文』第五一卷第八号 昭和五七年 八月

平凡社大百科事典(九項目)(分担執筆)

加藤周一他編『平凡社大百科事典』 昭和五九年一月

制詞の享受史・覚え書き

『藝文東海』第四号 昭和五九年一二月

初期の古今集注釈と和歌の家の展開―院政期から鎌倉期（分担執筆）

横井金男・新井栄蔵編『古今集の世界―伝授と享受―』世界思想社

宗祇『浅茅』と『名所和歌抄出』

『文藝論叢』第二八号 昭和六二年 三月

院政期の古今集序注と日本書紀注釈書―勝命『真名序注』を中心に―

『文藝論叢』第三〇号 昭和六三年 三月

雲玉集

『新編国歌大観』第八卷 平成 二年 四月

桂林集

『新編国歌大観』第八卷 平成 二年 四月

日本史大辞典（七項目）（分担執筆）

網野善彦他編『日本史大辞典』 平成 六年 二月

俳文学大辞典（二項目）（分担執筆）

加藤楸邨他監修、尾形仂他編『俳文学大辞典』 平成 七年一〇月

校勘という読書

『大谷学報』第七七七卷第四号 平成一〇年一月

『内裏名所百首』の享受と歌枕の固定化

『文藝論叢』第六一号 平成一五年 九月

『平安文学研究ハンドブック』（分担執筆）

田中登・山本登朗編『平安文学研究ハンドブック』和泉書院 平成一六年 五月

伊達本名所三百首注の研究

『大谷大学研究年報』第五七集 平成一七年 三月

『類字名所和歌集抜書』諸本考

『文藝論叢』第六四号 平成一七年 三月

中世から近世にかけての名所歌集の研究―『類字名所和歌集抜書』の場合―

『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』第二二号 平成一七年 三月

久世家旧蔵書と久世本『俊頼髓脳』奥書筆者

『國語國文』第七五卷第三号 平成一八年 三月

中世における『万葉集』享受の一樣相―『名所和歌抄出』を中心に― 『文藝論叢』第八八号 平成二九年 三月

名所「伏見」「深草」と「稻荷」―宗祇の選撰― 伏見稻荷大社『朱』第六二号 平成三一年 三月

歌語の怪―「鱸(すずき)釣る」から「薄(すずき)散る」へ

大谷大学図書館・博物館報『書香』第三六号 平成三一年 三月

学術奨励金

・「二〇〇三(平成一五)年度一般研究(赤瀬班)個人研究」に対して、大谷大学真宗総合研究所から一〇〇万円の研究補助を贈与された。研究成果は、「中世から近世にかけての名所歌集の研究―『類字名所和歌集抜書』の場合―」(大谷大学真宗総合研究所研究紀要)第二号、平成一七年 三月)として発表した。